

東大和 タウンマップ

第二期 第27号

編集・発行：中野しのぶ

電話&Fax 042(567)1480

〒207-0013 東大和市向原 6-1180-5

[Email] townmap@jcom.zaq.ne.jp

[HP] 休止中です

2019年

1月10日

こんな住宅密集地だからこそ防災原っぱに!!



都営向原団地創出用地

北側空き地 18,000㎡
南側空き地 27,000㎡
現状用途は、第一種中高層住宅専用地域。

2008(平成20)年5月

東京都が住宅建設方針

2009(平成21)年2月

東大和市が地区計画変更

2011(平成23)年12月

都庁外事業者が決定

2012(平成24)年11月

都は事業者決定手続きを取止め現状に至る。

2017(平成29)年4月

都が北側に支援学校建設の意向を示す。

南側は防災原っぱに!
出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

都はすでに政策を変えているのだ。東京への一極集中を抑えるために都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

都営向原空き地提言① 『北は支援学校／南は原っぱ』に

住宅密集地にこれ以上、住宅はいらない!! 大震災に備え自由に使える防災原っぱこそ必要

東大和市駅に近い都営向原団地の創出用地(以下、空き地)は、9年前に東京都が一戸建てを中心とした住宅を造る方針を決めて動き出したが、事業予定者に不正があり6年前に計画がとん挫。その後進展がないまま放置されてきた。しかし、昨年に東京都教育委員会が、不足している障害者の特別支援学校を北側空き地に造る意向を東大和市に示すが、今度は市が難色を示して動きがこじ着いてしまった。不可解な市の対応に対して提言するものである。【文責・編集部】

住宅建設に固執する市

そもそも都教育委員会が、深刻な教室不足で特別支援学校を北側空き地に造りたいと市に説明に来たことを、市は議会にも伝えていなかった。共産党議員の資料要求で初めて知る状況だった。市はそれだけ特別支援学校の話は、想定外として受け止

めたようだ。

実際、その後に多くの議員が、市に都の意向を踏まえ対応するよう質問をしているが、市の見解は、もともと都の意向を受けて住宅建設の地区計画を作った。なのに、都からは釈明もなく不誠実だ。市は人口減少対策のために良好な住宅がどうしても必要

質の高い街づくりを

正直、疑問だらけの答弁である。そもそも都府県に都が必要施設を造りたいと言っている話である。しかも、障害者の特別支援学校は、市内の障害児を抱える親たちも切望しており、地域福祉にも貢献する可能性は大きい。更に、都は学校建設の条件として、市が要求した溢水対策の大規模貯水槽を地下に造ることも同意している。

東大和市の都心に近い地理的利点や狭山丘陵、多摩湖を持つ環境的利点などを踏まえれば、後者の立場での質の高い街づくりこそが、東大和市の取り組む課題であることは言うまでもない。その点から当該は、都府県は、有地の空き地は創出用地として、スポーツや文化、福祉用地としての活用

なので、都に対して南側空き地だけでも住宅の建設を求めているが回答がない。だから、対応出来ないという答弁だ。

用を各自自治体に呼びかけている。その点では極めて有効な街づくり対応をしている。しかも、上記写真で分かるように、この向原と南側地区は住宅密集地であり、必ず来る大震災のことを考えたら貴重な空き地は防災上絶対必要だ。その意味で当初の住宅建設計画が無くなったのは、不幸中の幸いでもある。確かに、人口減少で全国の自治体がつぶれる、衰退するという危機感あふれる議論があるのも事実だ。しかし一方それを危機とは捉えず質の高い街づくりを行う好機と見るべきとの論説もある。

カフェレストラン
PACE パーチェ
火・水・金(祝日含)
AM11:30~PM2:00

シフォンケーキ・チーズケーキ
始めました!
ランチ 680円
(サラダ・スープ付)
ランチドリンク付 830円



★どのような障害があっても働き、学び、憩える!
PACE パーチェ
天井★
【注】駐車場は2台分しかありません。
新青梅街道 東大和市役所
青梅街道

障害福祉サービス事業所
PACE(パーチェ)
(就労継続支援B/生活介護)
東大和市奈良橋5-814-14
Tel.042-843-6375
月~金 開所(祝日も開所)

<http://pacekeyaki.web.fc2.com/>

※通所時間は9:30~15:30です。

地域主権政治めざして「やまとみどり」
市政を語る会
2月10日(日)

午前 10 時～12 時
ハミングホール会議室

◇入場無料。東大和市政・市議会を自由に語る場です。
 ◇お問い合わせはTEL080-9356-5573 大川事務局長。



床鍋 義博
 《市議会議員》

2期/54 歳。
 明治大学大学院卒。◇MBA (経営管理修士) 公認内部監査人。東大和市監査委員(議会選出)、行政書士ほか。



大川 元
 《事務局長》

38 歳。明治大学史学地理学科卒。元陸上自衛隊儀仗隊員。◇民主党国会秘書を経て、現在看護師として医療現場に。



中野志乃夫
 《市議会議員》

6期/61 歳。青山学院大学史学科卒◇東大和タウンマップ代表、NPO法人理事長。精神保健福祉士、介護福祉士ほか。

街角情報

「コスタリカの奇跡」上映案内
 2月2日(土)
 ◆第1回上映 10:30～
 ◆第2回上映 14:00～
 ■東大和市ハミングホール(小ホール)にて
 入場料:
 大人 1,000 円
 学生・障害者 500 円
 ◇主催・連絡 「コスタリカの奇跡」を上映する会・榎本 090-1884-5757
 ◇後援: 東大和市/市教育委員会/市社協

WINNER Best Exposé Feature Documentary Peace on Earth Film Festival 2017
 WINNER Best Documentary Pembroke Tappin Arts and Film Festival 2016
 WINNER Best Social Benefit Eugene International Film Festival 2016
 WINNER Grand Prize Will Tell International Film Festival 2016
 WINNER Honorable Mention Workers Unity Film Festival 2016

1948年に軍隊を廃止。軍事予算を社会福祉に充て
 国民の幸福度を最大化する道を選んだ
 コスタリカの奇跡に迫ったドキュメンタリー。

積極的平和国家のつくり方
コスタリカの奇跡
 A BOLD PEACE

監督・プロデューサー: マシュー・エディー、マイケル・ドレリング 制作: ソウル・フォース・メディア 制作協力: スパイトル・ピクチャーズ
 配給: ユナイテッドピープル 2016年/アメリカ/コスタリカ/90分

「コスタリカの奇跡」上映会
 2月2日(土) 10:30/14:00
 東大和市 ハミングホール(小)

第29回多摩湖駅伝 3月21日(木・祝)

開会式: 8時30分 コース: 東大和市多摩湖

《多摩湖周回 28.968 km(1区間 7.242 km)/公園周回 9.628 km(1区間 2.407 km)》

■壮年から小学生まで各チーム4名で走る多摩湖駅伝は、回を重ねるごとに参加者が増える大人気の大会です。昨年は、多摩湖周回コースに一般の部217、高校の部4。公園周回コースに一般の部47、一般女子の部13、壮年の部14、中学男子の部56、中学女子の部26、小学男子の部28、小学女子の部18という400を超えるチームが参加しました。友好都市の喜多市からの参加もあります。みんなで応援しましょう。

憲法カフェ 1月26日(土)

13:30～15:30 * 気楽にご参加を *
 今回のテーマは「外国人労働者問題」です!

カフェレストラン PACE(パーチェ)にて
 ◆ケーキ付ドリンクセット 550 円、ドリンク 250 円～300 円
 東大和市奈良橋 5-814-14 ☎042-843-6375

～習い事ではなく夢をかなえるために～

荒居ギター教室

arai-guitar.jp

Email: araignuitar@muf.biglobe.ne.jp

〒207-0011 東大和市清原 1-1-32-301

TEL 042(564)3249



“やすらぎといこいの空間ここにあり”

喫茶・軽食



どっぽ

10:00AM ~ 9:00PM
 (7:00PM以降は予約制)

日曜祝日定休 駐車場あり

TEL (565) 5182 東大和市南街 1-19-5



編集後記



東大和タウンマップ代表
中野しのぶ

◆日本国憲法の下、当然あるべき選挙権はない。職業選択の自由もない。政治的発言も許されない。新元号が決まる今年こそ、時代に即した「象徴天皇」の在り方を考えるべきではないでしょうか。

◆昨年の秋篠宮発言は衝撃でした。もちろん長女の婚約話ではなく、天皇の代わりに行われる大嘗祭についてです。

「宗教行事と憲法の関係はどうなのか」「大嘗祭は(中略)身の丈に合

なり言っている」「話を聞く耳を持たなかった」とまで発言しました。

歴史的には大嘗祭そのものを行わなかった時代が長くあり、質素に行う方が史実に沿っています。その意味で指摘された点は大変重要ですね。

しかし、安倍政権は皇族からの指摘も無視して、巨費を投じて大嘗祭を行う準備を進めています。

◆更に違った意味で、驚く発言がありました。靖国神社の宮司による天皇

批判です。週刊ポストによると小堀宮司は、現天皇は慰霊の旅ばかりしているが一度も靖国神社を参拝しない、靖国神社を潰そうとしている等々と発言したそうです。

そもそも靖国神社を天皇が参拝しなくなったのは、A級戦犯を秘密裏に合祀していたことが発覚してからです。昭和天皇がそれ以降参拝を止めて現在に至った訳で、逆恨みとしか思えません。

しかし、見逃せないのは、この宮司も安倍政権を支える日本会議の主要幹部です。

新年度予算に憲法違反の空母まで盛り込み暴走する安倍政権。平和を願う慰霊を続けてきた平成の天皇。実に対照的です。